



私を囁んで——

竹内里紗 第一回監督作品

飛田桃子 山田由梨

制作・配給:シネマトグラフ 配給協力:トラヴィス

 TAMANEW WAVE 〈グランプリ〉〈ベスト女優賞〉
うえだ城下町映画祭 〈大賞〉

みちていく

www.michiteiku.com

新月の日にお願いとすると
満月の日に叶うんだよ——

増村保造の再来か! 21歳の恐るべき新人監督、竹内里紗。

17歳の少女たちを肉感をもって軽やかに描ききったのは撮影時、弱冠21歳の竹内里紗監督。立教大学では万田邦敏監督に師事し、本作は卒業制作ながらその完成度の高さが話題を呼び、お披露目した国内の二つの映画祭で連続グランプリ受賞という快挙を成し遂げた。増村保造の情熱と完成度、相米慎二の瑞々しさを持ち合わせた、恐るべき才能を秘めた新人監督の誕生が今評判を呼んでいる。



少女たちの嘘と秘密のサークルゲーム

陸上部を舞台に、満たされない二人の少女——みちると新田を中心とした10代の多感な少女たちの群像劇。主演の飛田桃子の独特な存在感と生命力溢れる肉体、山田由梨の凛とした佇まいと繊細な演技、そして監督である竹内里紗の三人の女性たちの生きるエネルギーが結集し、単なるガールズムービーではない重厚な人間ドラマが立ち上がる。

ストーリー 歳の離れた恋人に身体を噛んでもらうことでしか満たされない陸上部のエースみちる(飛田桃子)。生真面目で部員達に疎まれる部長の新田(山田由梨)。二人は互いの空虚を埋め合うように、だんだんと近づいていく——

みちるていく

出演：飛田桃子 (PFF2012グランプリ『くじらのまち』主演) 山田由梨 (「賢沢貧乏」主宰)
鶴田理紗・西平せれな・崎田莉永・山口佐紀子・篠原友紀・宮内勇輝・泉水美和子・小野孝弘
監督・脚本・編集：竹内里紗 撮影：松島翔平 照明：山田陽一郎 録音：鈴木冨・岩崎紀子
助監督：武隈風人・鈴木冨 音楽：金光佑実 宣伝協力：髭野純 宣伝美術：石塚俊
協力：立教大学・万田邦敏 制作・配給：シネマトグラフ 配給協力：トラヴィス 宣伝：細谷隆広
2014年/カラー/16:9/89分

監督たちから絶賛のコメント!!

中心もなく輪郭もない存在が、その震えによってかろうじて存在を露わにする。いや、震えこそがもはや存在なのか。思春期特有のどうしようもなさ、遠さ、かけがえのなさ、はかなさ。言葉にしたらすべてがウソとなるその震えを、本作は見事なまでに画面に浮かび上がらせている。

——塩田明彦

ちいさな擦りキズのような出来事が、わたしを揺り動かす。あなたを、せかいをどうやってつなぎとめればいいのかわからないまま、すべては変わってゆき、もうもとは戻らない。目に見えるものは何も変わらないのに、でも何かイメージをみたくしてゆく……それは何?それが映画=パッションなのだ。

——諏訪敦彦

せせらぎに紙片が舞い落ち、それが裂かれたノートと気づくとき、思わず山中真雄と呟いた。本作は祝福されている、映画の宇宙に。

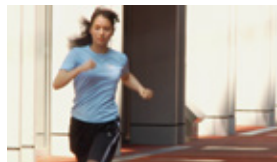
——青山真治

月の満ちる間、生の痕跡を求める過渡期の衝動が、名と姓がすれ違いを演じる物語を通じ、魂の交感=交換に結晶する。その独創性に驚嘆した。

——筒井武文

「消えて欲しくないから来たんだよ」という主人公のラストの台詞が心をつき刺す。まさか学生の卒業制作作品で涙するとは思ってもいなかった。不覚なり。

——万田邦敏



6月27日 [土] より
レイトロードショー決定!
特別鑑賞券1,200円(税込)にて発売中

初日舞台挨拶、
トークイベントを予定。
新着情報更新中!
www.michiteiku.com

渋谷・文化村前交差点左折

ユロスペース
EUROSPACE

TEL 03-3461-0211
WWW.EUROSPACE.CO.JP

